

平成21年度一般会計当初予算説明資料

6款 農林水産業費

5項 水産業費

境港水産事務所(0859-42-3167)

2目 水産業振興費

(単位:千円)

事業名	本年度	前年度	比較	財源内訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
マグロ資源地域活用推進事業	1,805	983	822				1,805	
トータルコスト	7,605千円 (前年度 4,789千円)							
従事する職員数	正職員:0.7人							
主な業務内容	研究会開催、計画の承認、補助金交付事務							

事業内容の説明

1 事業の目的

日本一の水揚量となっている境港のクロマグロの生産から消費までの各段階の一貫した連携による有効活用を図るため、関係者の連携組織である「境港マグロ研究会」(H19設置)の開催及び水産関係者によるマグロ冷凍出荷の新たな取り組みへの支援により高付加価値化を推進する。

2 事業の背景

境港のクロマグロは、夏場に大量に漁獲されるため、“身焼け”と呼ばれる品質劣化発生のリスクがある。また、漁期が最大2ヶ月と短く、季節商品として生で丸のまま消費地市場に供給される流通構造であること等の理由により価格形成力が弱く、かつ消費地市場からの周年出荷の要望や観光資源としての需要があるにもかかわらずその商品価値を十分に活かしてきていない。

3 事業の内容

(1) 境港マグロ研究会の開催

生産から消費までのクロマグロ関係者の自由参加による各種取組の推進及び連携を図る会議の開催

(2) マグロ高付加価値化支援

小規模流通販売レベルでのマグロの冷凍試験及び需要増大期における消費地出荷販売試験に対する支援

4 平成21年度事業費

(単位:千円)

事業内容	事業主体	事業費	予算額	補助率
マグロ研究会の開催	マグロ研究会(事務局:県)		383	
(新) マグロ高付加価値化支援事業費補助金	マグロ生産者、流通販売業者で構成するグループ	4,266	1,422	1/3

【境港マグロ研究会】

(構成員:漁業生産者、卸売業者、加工・仲買業者、飲食業者、消費地事務所等、研究機関等)

～具体的活動及び対策項目等～

- 漁業現場:身焼け防止等の品質管理の向上
- 流通現場:境港産マグロの特性を生かした商品開発及び販路開拓(冷凍技術の活用等)
- 販売現場:地域観光業との連携による知名度アップ